



京都大学

設置期間 2018年4月1日～2021年3月31日

寄附者 SCS国際コンサルティング株式会社

「事業分析と価値評価について理論と実務の理解を深める」



教員

特命教授 松本 茂

教 授 砂川 伸幸

講義

◎ Business Analysis and Valuation



教員紹介



松本茂 特命教授

専門分野
 企業買収 (M&A)、グローバル経営
 担当科目
 Business Analysis Valuation

Message

ビジネススクールの醍醐味のひとつは、企業経営をアカデミックなアプローチで掘り下げる面白さに出会うことです。私自身もその楽しさに惹かれたひとりで、仕事の傍ら企業買収の成否を研究し博士を修めました。刻々と進化するグローバルビジネスを探索する楽しさに気付いてもらうことも自分の役割と考えています。



砂川伸幸 教授

専門分野
 コーポレートファイナンス、企業価値評価、戦略評価
 担当科目
 証券投資論、コーポレートファイナンスワークショップⅠ、Ⅱ

Message

ファイナンスと経営の研究・教育の道を選んで、ちょうど20年がたちました。前任の神戸大学では、社会人MBAで経営戦略も担当しました。この間、幸いなことに理論(教科書や論文)と実務(経験)の双方を勉強することができました。皆さんと一緒に、ファイナンスや経営の理論と実践について議論することを楽しみにしています。

概要

本講義は、履修生の皆さんが将来、買収や合併、提携、そしてリストラクチャリングなど企業戦略の実行に携わることを想定して、事業分析と価値評価について理論と実務の理解を深めることを目的としています。企業活動のグローバル展開に鑑み、講義は英語で行います。レクチャーに加え、事例を用いたディスカッションを通じて留学生を交えたインタラクティブな講義とします。また、担当教員が現在、進めている文部科学省科研費助成による海外M&A研究の成果を講義に盛り込んでいます。

事業を分析すること、そして、事業の価値を理論的に評価することは、経営を執行するマネジメントだけではなく、資金提供する投資家、そして銀行家にとっても不可欠な能力です。本講義では、実際に日本企業が海外で取り組んだ買収や合併の成功、そして失敗事例を用いて、机上で経験を積むことにします。

重要な経営判断を下す最後のタイミングで問われるのは、企業の大きさではなく、個々の経営者が持ち合わせる素養と経験の多寡です。会社の現場から離れてビジネススクールに在籍する皆さんが、「個」として自ら研鑽する機会を提供します。